

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。

(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホームゆう

(ユニット名)

すもも

記入者(管理者)

氏名

松井 日出美

評価完了日

平成 19 年 6 月 19 日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) グループホームに関わる法令の意義を理解しており、自らのホームの運営上の方針や目標等に具体化している。「一人ひとりの個性を尊重し、その人らしい生活を送れるよう支援する」の理念に基づいたケアを実施している。 (外部評価) 利用者へのかかわり方やケアについて、利用者主体のサービスを提供するための理念が作られている。		この機会に、利用者が地域の中でその人らしく暮らし続ける事を支えていくサービスとしての理念について、話し合ってみてはどうだろうか。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) すべての職員がホームの理念を述べることができ、常に運営理念の実施に取り組んでいる。 (外部評価) 玄関に事業所の理念を掲示し、毎月のミーティング、カンファレンスの機会に理念の実践に向けて話し合われている。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議等において運営理念の啓発、理解に取り組んでいる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 近隣の住民も訪ねやすいよう玄関まわりや建物の周囲に、家庭的な雰囲気作りを配慮している。散歩時は気軽に挨拶声掛けを行っている。又、近隣の方も赤ちゃんを連れてうさぎを見に来られたり、仲良くさせて頂いている。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 敬老行事、運動会等の地域活動には出来る限り参加し、交流を深めている。 (外部評価) 隣に小学校があり、児童が遊びに来てくれる。調査訪問時、利用者が小学校の門の周囲の草引きをされていた。学校の先生や近くで農作業をされている方達とあいさつ等をされている。利用者のご家族が、事業所内で琴の発表会をしてくださり、ご近所の方達にも案内をされた。		
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 利用者さんが町道の掃き掃除をされたり、小学校にお手製のお手玉をプレゼントして喜んで頂いている。		
3. 理念を实践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 利用者本位のサービスの質の向上の為の評価だと職員が理解し取り組んでいる。評価結果をサービス改善に活かしている。 (外部評価) 自己評価を全職員で取り組まれた。前回の評価結果を踏まえ、改善計画を作成し、事業所のさらなる質の向上に取り組まれた。プライバシーの面について配慮できるよう、玄関から見えるトイレの戸を改善されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	<p>運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	(自己評価)		
			<p>運営推進会議で、地域の方や家族等の意見を聞き、サービス向上に取り入れている。</p>		
			(外部評価)		
			<p>事業所のことをさらに知っていただけるよう取組まれている。民生委員の方に声かけし、順番に出席していただき、事業所の活動報告や、利用者の状況、外部評価の結果を報告し、質問や意見をいただいている。</p>		<p>さらに、地域に密着した事業所を目指すためにも、いろいろな方の声が聞けるような会議の取り組みも期待される。</p>
9	6	<p>市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	(自己評価)		
			<p>運営推進会議以外にも、支援センター等と連携を密に取り合っている。</p>		
			(外部評価)		
			<p>事故報告を行っておられる。</p>		
10		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	(自己評価)		
			<p>利用者や、その家族による成年後見制度や地域福祉権利擁護事業を事業所内で活用している。</p>		
11		<p>虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている</p>	(自己評価)		
			<p>虐待は行わないということをし、すべての職員が正しく認識しており、虐待の無いケアを実施している。又、研修で学び、虐待は行ってない。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 十分な説明を行い利用者、家族共に理解、納得を得て契約、解約を行っている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 運営推進会議等で利用者が参加し、意見を述べる場を設けている。又不満、苦情等があれば、その都度対応しサービス向上に努めている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 毎月1回必ず、お便りや写真、金銭出納帳を送付している。家族面会時に職員の異動は必ず報告紹介している。		
			(外部評価) 毎月、ご本人の様子や行事のこと等を手紙に書き、ご家族へ送付されている。又、病院受診等電話連絡も随時されている。ご家族の来訪時に、新人職員を紹介されている。		今後さらに、遠くにお住まいのご家族への報告等についても工夫していきたいと考えておられた。
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 運営推進会議等で家族の意見等をお聞きしている。又面会時等に、不満、苦情等があれば、お聞きして運営に反映させている。		
			(外部評価) 日常のご家族の来訪時にも意見をいただけるよう働きかけを行なっておられる。現在は、ご家族からの意見や要望は少な目である。		今後、家族会開催の回数を増やしていきたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 月1回のミーティングで意見交換を行い、全員納得の上で意見や提案を反映させている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 利用者や家族の状況の変化に応じて、対応が出来るよう、職員と話し合い、勤務の調整、職員の確保に努めている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 異動や離職は最小限に抑える努力をし利用者混乱が起きないように配慮している。又、2ユニットは隣同士なので、利用者は自由に行き来していることから、全職員と顔馴染みになっている。 (外部評価) 調査訪問時、利用者はユニット間を行き来されており、他ユニットの職員とも顔馴染みの関係となっている様子であった。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修会は可能な限り参加している。月1回のミーティングにおいても、テーマを決めて順番に研究発表を行っている。定期的な自己評価を行い、自分自身を見つめ直す機会をもっている。 (外部評価) 職員で話し合い、研修の年間スケジュールを作成し、積極的に参加されている。毎月のミーティング時、事業所内での現在の課題点を見出し勉強会を行っている。又、事業所独自の90項目の自己評価を職員が実施し、日々のケアの取り組みについて振り返っておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			全職員が他グループホームの実習を行い、自施設の質向上に取り組んでいる。		
			(外部評価)		
			他のグループホームに職員が交代で研修に行き、日々のケアに活かしておられる。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			以前は利用者様と一緒に休憩していたが、職員を増員し個別に休憩出来るようになり、心にゆとりが出来ストレスの軽減に役立っている。		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			90項目による自己評価を定期的に行い、自分自身を見つめ直している。運営者は職員に対して、感謝の気持ちを持ち、毎年給料、ボーナス、夜勤手当等、昇給している。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			本人の希望、不安をよく傾聴し、不安を取り除くよう努力している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 家族の希望、不安をよく傾聴し希望を聞き入れ、不安を取り除き十分理解されたうえで、信頼関係を築くよう努力している。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 本人、家族、専門機関の意見を聞き、個々に合ったサービスの提供が行なえるよう努めている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 利用者と家族と一緒にホームを見学されたり、隣接するデイサービスを利用して、慣れて頂いたり工夫している。 (外部評価) 併設のデイサービスに通われていた利用者の入居もあり、入居後もデイサービスと交流されている。病院や自宅からの入居の方には、事前にご本人やご家族に見学していただいている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 職員は利用者とは行動を共にし、本人の得意な部分を引き出し学び支えあっている。(一緒に買物や散歩、掃除、洗濯、調理等を行っている) (外部評価) 職員は、利用者に料理の味見をしていただいたり、野菜の柵の作り方等を教えてもらっている。利用者が詠まれた川柳に他の利用者が感想を述べておられた。		今後も、利用者の得意な茶の湯やお華を教えていただけるような場面作りを増やすことを検討されていた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族には利用者の状況を伝え、共に考え、相談等行っている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 家族が気軽に訪問でき、訪問時は居心地良く過ごされるような雰囲気を作っている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 宗教の会合への参加、親しい友人の来所等、継続出来るよう支援している。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者同士の関係を把握し、孤立をしないよう、気配り、目配りを行い信頼関係を築けるよう努めている。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 長期の入院が必要となり退所された利用者に対し、相談、援助を行い又、医師と家族との連携をとり行った。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			本人、家族等より詳しいアセスメントを行いセンター方式にてその人らしい生活を支援できるよう取り組んでいる。		
			(外部評価)		
			職員は、利用者とかかわる時間を大切にされている。言葉に出されない方には、特に日々の行動や表情を意識し、汲み取っておられる。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			本人、家族、ケアマネージャー等により、アセスメントを行っている。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			利用者一人ひとりの一日の過ごし方や、心身状態の把握を行い、残存機能の維持向上に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			毎月職員全員、管理者と一人ひとりのカンファレンスを行い、現在の状況を話し合い、計画の見直しを行いそれに反映した介護計画を作成している。		
			(外部評価)		
			ご家族の思いや意見を聴き取り、「家族連携ノート」を作成し、毎月ミーティングで話し合い、計画には反映されている。		さらに、利用者ご本人の求めていることにこだわり、又、ご本人にかかわる人達の意見やアイデアを十分に採り入れ、ご本人主体の計画の作成が期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			毎月のミーティングでカンファレンスを行ない、評価をし、立案に変化があれば介護計画の見直しを行ない、新たな計画を作成している。		
			(外部評価)		
			基本的には6ヶ月ごとの見直しとされている。毎月、ミーティングで話し合い、状態に応じて随時見直しをされている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			日々の様子や、ケアの実施、結果、気づき等を個別記録に記入し、実施や介護計画に役立てている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			事業所は訪問介護、デイサービス、宅老所を運営しており、利用者の状況にあったサービスを提供している。		
			入居前に楽しまれていた老人会のクローカーを入居後も続けていけるよう、職員が送迎をされている。自宅の畑で農作業を続けることも継続されており、職員と一緒に行き支援されている。又、収穫した野菜を親戚に送り喜ばれている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 利用者の生活の安定や拡がりの為に周辺地域の協力を得て支援している。(夜間パトロール、消防訓練、ボランティア)		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 様々な関係機関と連携を取り、個々に適したサービスが提供できるよう家族と関係機関と話し合いをもっている。(デイサービス見学)		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 本人の生活がより安定したものになるように地域包括支援センターと連携を取り合っている。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 本人、家族の希望によりかかりつけ医は、決定している。又、主治医もおり緊急時は即対応してもらえる。 (外部評価) 月に1度、協力医療機関の医師による、往診がある。病院受診は、職員が同行したり、身体状況によってご家族が対応することもある。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 認知症に詳しい医師との連携を取りアドバイス等を頂いている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) ホーム、宅老所の看護職員と、かかりつけ医院の看護師が連携を取り、医師とのパイプ役となり健康管理を行なっている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入所中の情報提供を行ない、安心して入院でき、退院時は病院関係者との情報交換や相談に努めている。 (北宇和HPの院長や看護師と、救急時における対応について連絡を取り合っている)		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 家族と話し合いのもと医師と相談の上、終末期ケアに向けて取り組みを行なっている。(看取指針) (外部評価) ご本人ご家族の希望により、現在、事業所では看取りを実践されている。事業所にご家族が宿泊されており、状態に応じ医師の往診がなされ、話し合いを行ないながら協力し合っておられる。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 本人、家族の希望を尊重し、終末期のケアを医師、看護師、職員と連携を取りながら、今後の変化に備えて取り組んでいる。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) ケア関係者で話し合いや情報交換を行ない、本人が安心して生活出来るよう支援している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 職員は利用者一人ひとりの個性を尊重し、本人が思っている現実を否定せず、その人に合った言葉掛けをしている。		
			(外部評価) 調査訪問時、探し物をされている利用者、職員が周囲にわからないよう声かけし、支援しておられた。		
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 職員は、利用者一人ひとりが、自分で決めたり、希望を表されることを大切に、選ぶことができるような声掛けをしている。		
			(外部評価)		
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 職員の都合で業務を進めていくのではなく、一人ひとりの日課に合わせて利用者が自由に自分のペースを保ちながら、暮らすことができるように支えている。		
			(外部評価) 一人ひとりの体調に配慮しながら、その日、その時のご本人の気持ちを大切に、行いたいことを尊重して支援されている。昼食時、眠そうにされている方には、「後で食べましょうか」と職員が声掛けをし、お部屋で休まれる方もおられた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 利用者の希望に合わせて、職員の送迎で行きつけの美容院に行かれたり又、職員が散髪をすることもある。又、お化粧品等も自由にされている。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 職員と利用者、同じ食事を一緒に作り、食べている。片付けは利用者さんが中心にされている。出来ない部分を職員が援助している。 (外部評価) 利用者に聴きながらメニューを決めておられる。利用者と一緒に育てた野菜を使って調理をされていた。食器も個々に合わせておられ、食べやすさ等にも配慮されていた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 健康状態を把握しながら(糖尿病、高血圧の方がいる)利用者の好まれるものを支援している。		
56		気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 利用者一人ひとりの排泄パターンを把握し、トイレでの排泄や自立に向けた支援をしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			利用者一人一人に合わせ、職員が付き添いくつろいだ入浴が出来るように支援している。夕食後の入浴も出来るよう人員を増やし、時間体制を整えた。		
			(外部評価)		
			入浴したい日や時間に入浴していただいている。一人で入浴することを希望される方には、職員が外で声かけをしながら安全に配慮し支援されている。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			利用者一人ひとりの睡眠パターンを把握し、昼間の過ごし方などを配慮し、安眠できるよう配慮している。入眠剤を服用されている方はいない。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			利用者一人ひとりのこれまでの生活の様子や、大切な経験や、出来事を知り、その人らしい暮らしや、尊厳を支え、活かせるよう努力している。		
			(外部評価)		
			カラオケが好きな方は、毎日歌を歌っておられる。事業所で飼っているウサギのお世話をされる方もおられ、調査訪問時、雨が降ってくると、雨に当たらないよう小屋を移動されていた。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			利用者が自分でお金を持つことの大切さを職員が分かっており、日常の金銭管理を本人が行なえるよう、利用者の力量や希望に応じて支援している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			天気の良い日は近所を散歩したり、ドライブに出掛けたり、道の駅や、スーパー等に、買物に行ったりして、過ごされるように努めている。		
			(外部評価)		
			日常的な散歩や買い物等、天候のよい日は、ほぼ毎日車で出かけておられる。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			夏はそうめん流しや、ぶどう狩り、秋はさつま芋堀や、墓参り等に出掛けている。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			利用者本人が書かれた手紙等は、おたよりの送付時、同封して送らせて頂いている。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			利用者の家族や、馴染みの人達が、いつでも気軽に来て頂けるように、笑顔で歓迎し、お茶などお出しして、居心地良く過ごせるように配慮している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 職員は、身体拘束を行わないという事を正しく認識しており、身体拘束の無いケアを実施している。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 利用者が自由に出入りできるように、日中は施錠していない。天気の良い日はドアを開放し、一人で出掛ける傾向のある方等は、常に見守りをしている。 (外部評価) 利用者が外出する場合、止めるのではなく、さりげなく声をかけたり一緒に付き添うようにされている。安全面に配慮して、自由に暮らせるよう取り組まれている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 日中は施錠をしない。全職員安全確認、見守りには神経を使い、事故がおきないように努めている。夜間は定期的な見守りをを行っている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 危険な洗剤などの保管は、収納庫に鍵をかけ保管している。刃物等は、保管する場所にきちんと収納するよう努めている。又、見守っている。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 防災訓練、心肺蘇生法を学び、緊急時に備えている。転倒、窒息、誤薬、行方不明などを未然に防ぐために一人ひとりの状況を把握している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 利用者の怪我、骨折、発作、喉詰まり等の緊急時、職員は応急手当を行ない、看護師に連絡し適切な処置の対応が出来る。又、救命救急法の講習を定期的に受けている。		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 利用者や施設の状態を考慮し、夜間を想定した火災訓練の実施、グループホームあんず、宅老所職員への連絡、連携体制にて、避難、誘導等訓練している。 (外部評価) マニュアルを作成し、消防署の協力を得て、年2回利用者と共に避難訓練を行っている。		さらに、今後、地域の方達とも相互に協力出来るよう話し合ってみてはどうだろうか。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 転倒のリスクのある方は、杖か老人車、徘徊を繰り返す利用者には施設はせず、見守り強化で対応する旨の了解を頂いたり、個々によるさまざまなリスクを考慮し、家族と相談し対応している。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 日々バイタル、食事摂取量のチェックを行ない、異変を見逃さないよう努めている。異常があれば看護師と連携を取り、指示を仰いでいる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 職員は、利用者の使用する薬の目的や、副作用、用法や用量を確認し、医師の指示通りに服薬出来るよう支援し、症状の変化を観察している。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 水分補給、食事内容、運動等、気を配っている。医師の指示により、緩下剤を服用している利用者もいる。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 利用者に合わせた誘導や、見守りをし、歯磨き、入れ歯の手入れ、うがい等、口腔の清潔を支援している。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 利用者一人ひとりの食事や水分の摂取量、栄養バランス等は、1日全体でおおよそ把握している。 (外部評価) 献立は栄養士に栄養バランスのチェックをしてもらっており、病気の方には、味付け、摂取量等に配慮しながら支援されている。居間には、オーナージャックとコップを準備されており、水分摂取できるよう職員が声をかけておられた。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) インフルエンザの予防接種を受けて感染予防に努めている。感染症の流行や対応策についての情報があれば、必ず対応している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>使用した食器、用具等は、すぐに洗い衛生管理を行っている。魚は朝市場で仕入れたものを届けてもらいその日に食している。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>玄関先は手作りのプランタ入れに、表札をかけ、季節の花々を飾っている。玄関横には皆でくつろげるようベンチを置いている。(小動物うさぎを飼っている)</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>食堂、玄関先には利用者が花を生け、皆の心を和ませている。ソファ、畳、こたつ、ひのき風呂など利用者が居心地良く生活して頂ける工夫をしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>中庭には季節の野菜が植えられ、ウサギも飼われており、パラソルと椅子が設置されており、両ユニットの利用者が交流されている。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者様により、自由に好きな場所で生活出来ている。日の当たる窓際のソファ、居間のこたつ、外のベンチなど自由に過ごされている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 せるような工夫をしている	(自己評価)		
			家族、本人と相談の上、使い慣れた家具や小物を持ち込んで貰っている。安心して生活して頂く為、出来るだけ家庭に近い環境にしている。		
			(外部評価)		
			ご家族の写真を貼ったり使い慣れたタンスを持ち込まれている方もおられる。畳を敷かれている方もおられ、その人らしい居室作りの工夫をされていた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			外気との温度差に気をつけ、こまめに換気を行っている。共用部分と居室の冷暖房の調整にも気を使っている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			玄関前、廊下、トイレ、風呂場に手すりを設置し、自立出来るよう支援している。居室入り口の畳との段差を解消している。あとは全く段差は無い。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			利用者一人ひとりの心身の状況を全職員が把握したうえで、自立支援に向けてのケアに取り組んでいる。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			畑で野菜を作ったり、うさぎを飼ったり、又、ベンチを並べ利用者がくつろげる場となっている。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	若い頃からの一人ひとりの生活を把握し、生活の中で活用出来るようにしている。利用者のこれまでの生活歴、経験、出来事等を知りその人らしい暮らしを支えるために活かしている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	利用者一人ひとりに穏やかに気長に対応するように心掛けている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者が自由に自分のペースを保ちながら暮らせるように支えている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者を尊重し、さりげなく声掛けや介助を行っている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	天気の良い日中は、出来る限り外に出かけて過ごされるように声掛けしている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	心身の変化や異常発生時に、いつでも看護師と連絡が取れ、相談が出来る(月1回受診)
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	「一人ひとりの個性を尊重し、その人らしい生活を送れるよう支援する」の理念の基、安心して暮らして頂けるように、サービス向上を目指している。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ①ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	家族の意見や希望を気軽に相談してもらえるような関係を築けるよう心掛け、努めている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	利用者の親しい友人や知人の訪問や、近所の方が、お孫さんとの散歩がてら立ち寄りられたり、小学生が休み時間等を利用して訪ねてくれることもある。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ② ① ③ ④	運営推進会議には、鬼北町の民生委員の方達の出席を頂き、グループホームへの認識や理解を示して頂いている。
98	職員は、生き活きと働けている (自己評価) ① ② ③ ④	協力し合いながら出来ている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ① ② ③ ④	家族を心配され、帰宅願望のある利用者もおられるが、概ね自由で束縛の無い生活に満足されていると思う。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ① ② ③ ④	利用者本位、尊厳保持を心掛けているので、評価はして頂いているのではないだろうか。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

社名のゆうは漢字の「優」と英語の「YOU」で「優しさをあなたに」又、社訓の「利用者様は我が父母なり」は利用者お一人お一人が我が父であり、我が母であるとの気持ちで接していきたいとの施設長、管理者の思いがそれぞれ込められている。理念は「一人ひとりの個性を尊重し、その人らしい生活を送れるよう支援する」である。幸い素晴らしいスタッフ又、環境にも恵まれ、隣接する小学校からは毎日元気な子供の声、姿を見る事が出来る。利用者は小学生との交流を心待ちにしている。交流のお礼に利用者がお手玉を作ってプレゼントしたり、又、校庭の草引きをされたりと、小学生との交流が生き甲斐へと繋がっている。又、お天気の良い日は毎日散歩に出掛けたり、畑仕事にと健康的な生活を送っている。畑で収穫した野菜を使って食事も旬の野菜中心の献立を心掛けている。

更に一人ひとりを大切に、それぞれのニーズに対応し、生活の質、ケアの質を高めていくための定期的な自己評価を行い、全職員が自分自身を見つめなおす機会としている。